障害福祉サービス共通評価基準　概評　〔各シート共通〕

○概　評

①非該当とした項目の説明、②独自に必要と思われる評価項目等、③項目評価を通じて気づいた点などを記入してください。	
1-(1)-②	4の項目については入浴や排泄介助が必要な利用者がいないため非該当とした。
1-(1)-③	1～4の項目については通所施設であり既に地域生活を営んでいる利用者を対象としているため非該当とした。
	個人使用の通信機器の持ち込み、来所中の利用を認めている。
1-(2)-①	4の項目については共同利用方式の電話等の設置はしていないため非該当とした。
1-(4)-③	4、5の項目については通所施設であり外出支援や外泊支援は行っていないため非該当とした。
4-(1)、(2)	入浴、食事のサービスは行っていないため非該当とした。
4-(3)-①	排泄介助を必要とする利用者がいないため非該当とした。
4-(4)、(5)	衣服や理容・美容について口頭で話し合うことはあるがサービスの提供は行っていないため非該当とした。通所施設であり衣服や理容・美容については基本的に個人に任せている。
4-(6)	通所施設であり睡眠への支援は行っていない。睡眠について利用者から気になることがあればスタッフが相談にのり話を聞く機会を設けている。
4-(7)-③	服薬については利用者が自己管理している。服薬管理が必要な利用者がいないため非該当とした。
	服薬について利用者から相談があった場合は必要に応じて助言を行っている。
4-(9)、(10)、(11)、(12)	通所施設であり外出、外泊、金銭管理、余暇活動などについてはサービスを行っていないため非該当とした。
5	通所施設でありショートステイ事業は行っていないため非該当とした。
6-(1)-②	3の項目については通所施設であり居室は設けていないため非該当とした。
10-(1)	合同会社であり理事などの設置はしていない。スタッフの役割は異なるが全員対等な立場で意見を交わせるよう努めている。

○サービスの質の向上に向けて取り組む課題

前回までの評価において、サービスの質の向上に向け取り組む課題を設定している場合はその内容と進捗状況を、また、新たに今回の評価によって今後取り組むべき課題がある場合も、その内容を記入してください。

関連する項目	内容および進捗状況	新規 継続 終了	取り組みの期間 （○年○月から○年○月まで）
3-(2)	事業所としての工賃目標値と各作業ごとの目標値を設定している。利用者個人でみると達成できている月もあるが年間通しての達成にはいたっていない。 →工賃について利用者と一緒にミーティングを行い、目標値の設定やそれに向けての作業内容の検討を行う。商品開発や販路の確保や営業活動、販売方法についてメンバーと相談し実践していく。	継続	令和8年4月～令和9年3月
3-(7)	職場実習を行う体制が整っていない。 →現時点で職場実習を希望するも利用者がいない。一般就労に向けて他事業所やアルバイトとの併用を希望する利用者は数名いるため併用の体制は整備している。今後職場実習の希望があった場合は希望する利用者と相談しながら検討していく。	継続	令和8年4月～令和9年3月
3-(5)、6	一つのフロアで内容の違う作業に取り組む状況であり、作業スペースや休憩室の確保が難しい場合がある。 →新事務所の設立にともない作業スペース、個室ともの拡大予定。利用者と相談しながらそれぞれのスペースをどのように活用していくか検討市環境整備を行っていく。	新規	令和8年4月～令和8年10月